

金沢マラソン2024調査結果報告会
2025.03.22
金沢市学生のまち市民交流館

金沢マラソンボランティア リーダーの評価と展望

金沢大学 スポーツ社会学研究室
佐川哲也

KM2024ボランティア参加者とボランティア調査

ボランティア参加者総数 4,477人

ボランティア調査対象者数 4,477人

回答者数 605人

有効回答者率 13.5%

リーダー確率

$$\frac{\text{ボランティア総数}}{\text{リーダー数}} = 16.1$$

16.1人に1人がリーダー

ボランティアリーダー総数 278人

ボランティアリーダー調査対象者数 278人

回答者数 77人

有効回答者率 27.7%

調査対象者の属性

ボランティア
全体

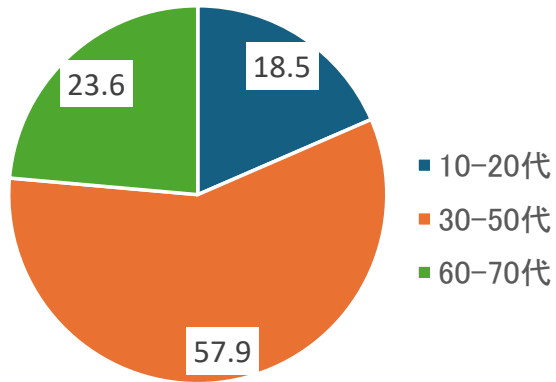


図1-1 年代別構成

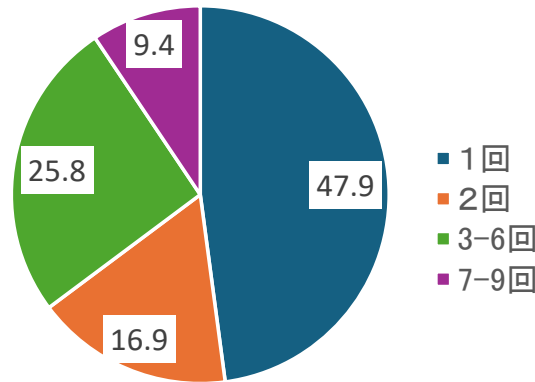


図2-1 参加回数別構成

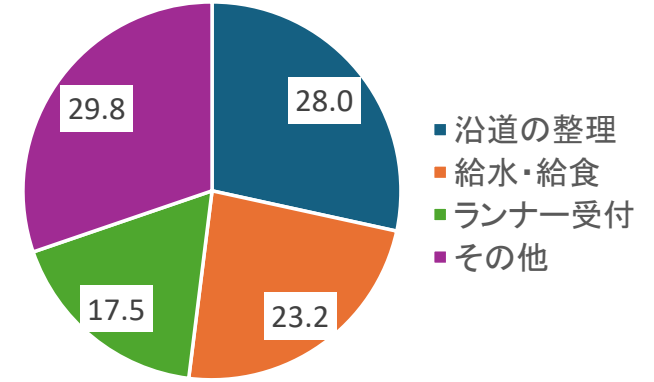


図3-1 活動内容別構成

ボランティア
リーダー

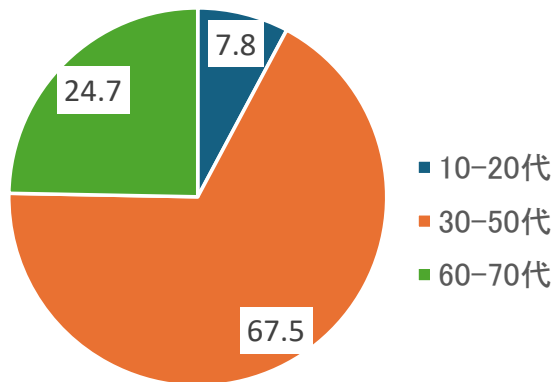


図1-2 年代別構成

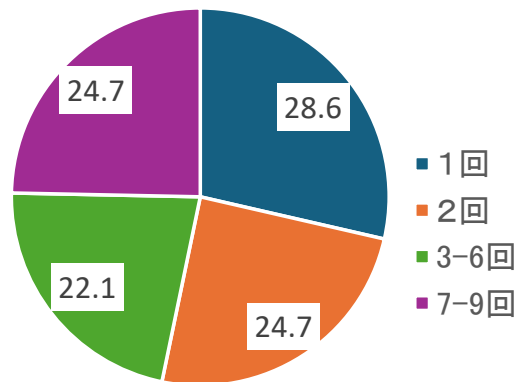


図2-2 参加回数別構成

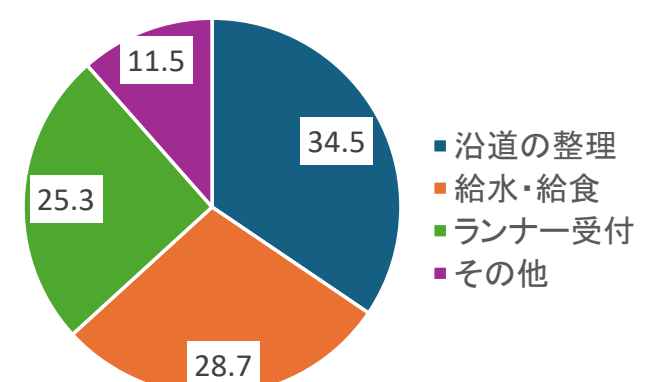


図3-2 活動内容別構成

ボランティア参加者から見たリーダー評価と担当意向

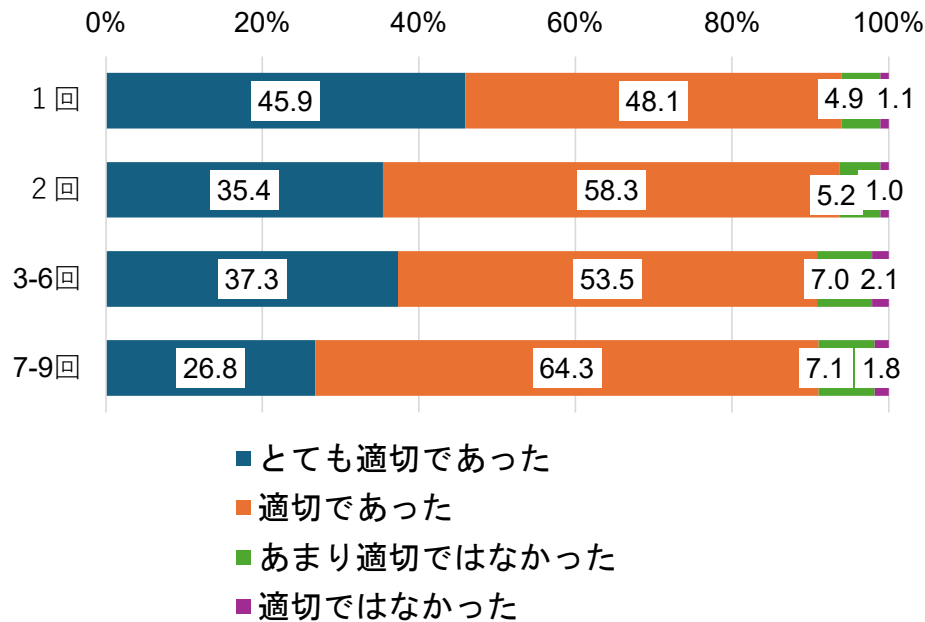


図4 リーダーの対応に対する所見

・参加回数の多い者ほど「とても適切である」が減少する傾向

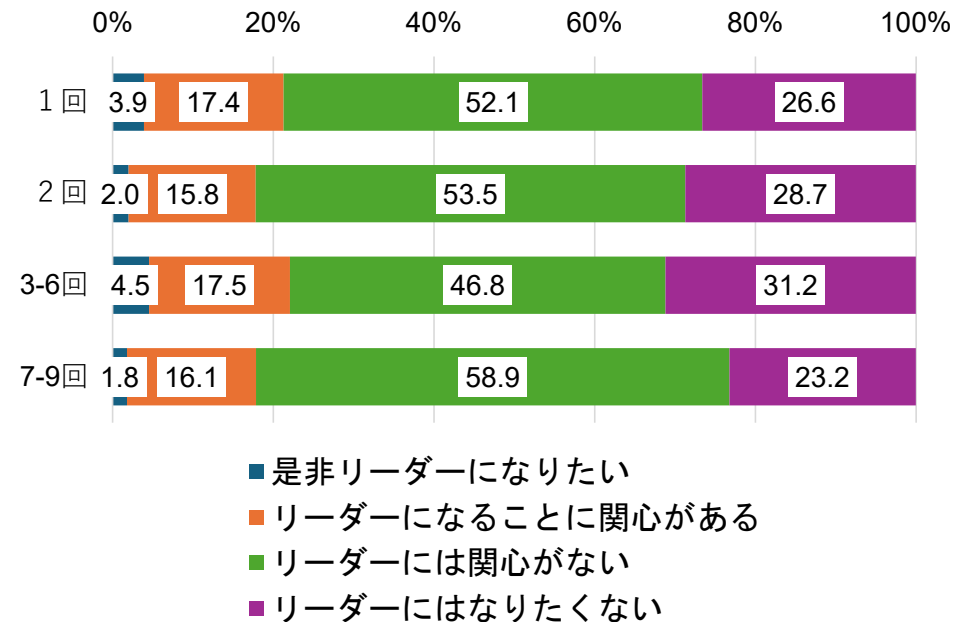


図5 リーダーを担当することへの意向

・「リーダーに関心がある」者は20%前後
・参加回数が増えても、大きな変動はない

ボランティアリーダー（回答者の属性）

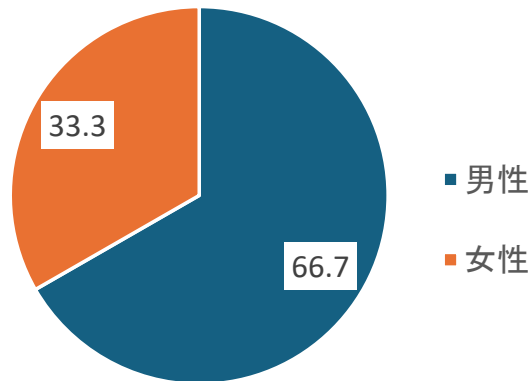


図6-1 性別構成

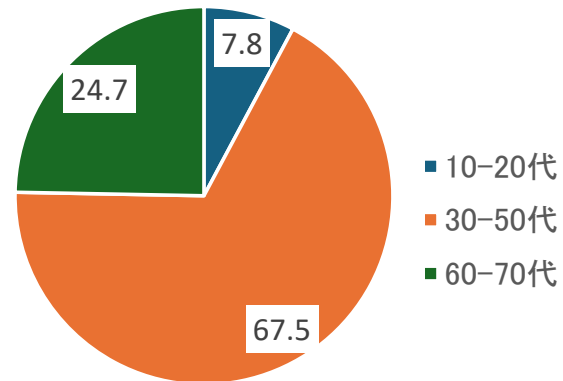


図6-2 年代別構成(再掲)

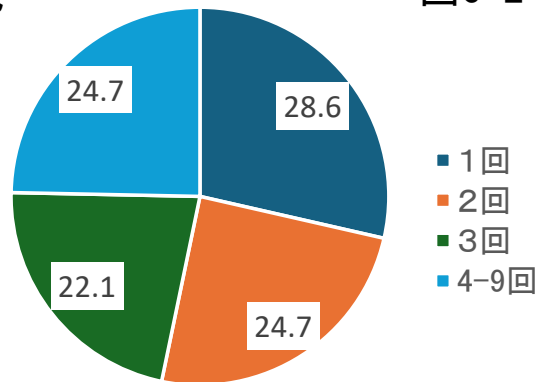


図6-3 回数別構成

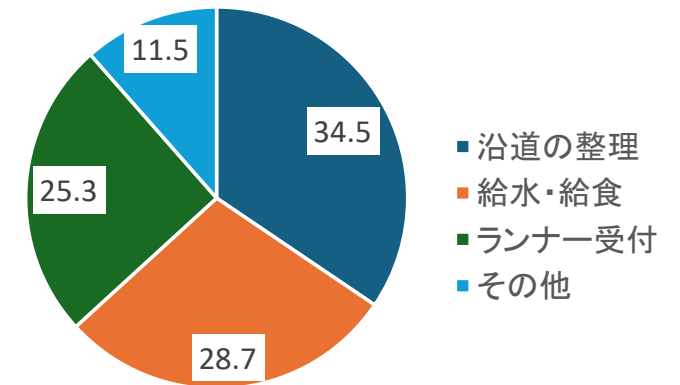
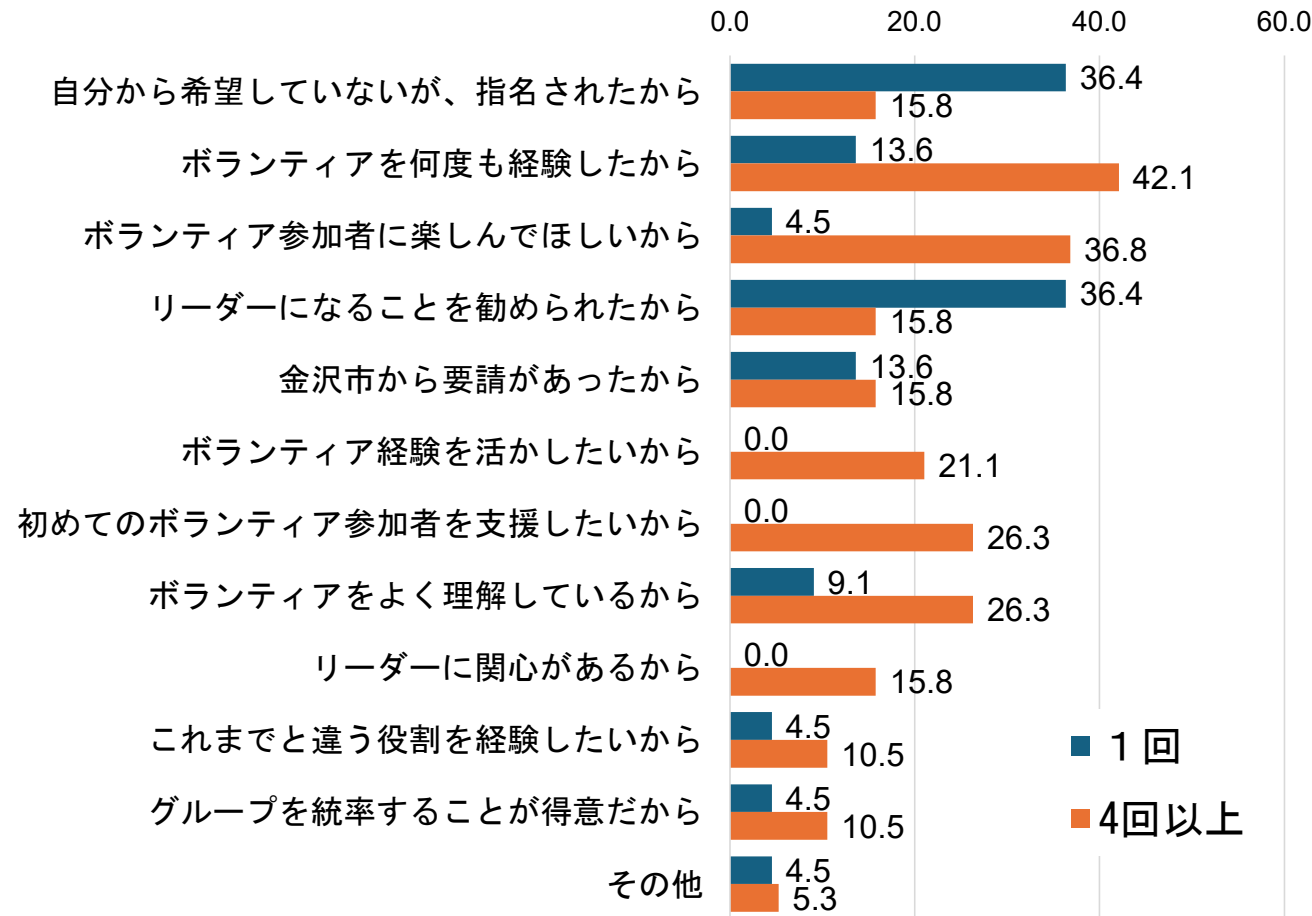


図6-4 活動内容別構成(再掲)

ボランティアリーダーを希望した理由



初めて（1回）者

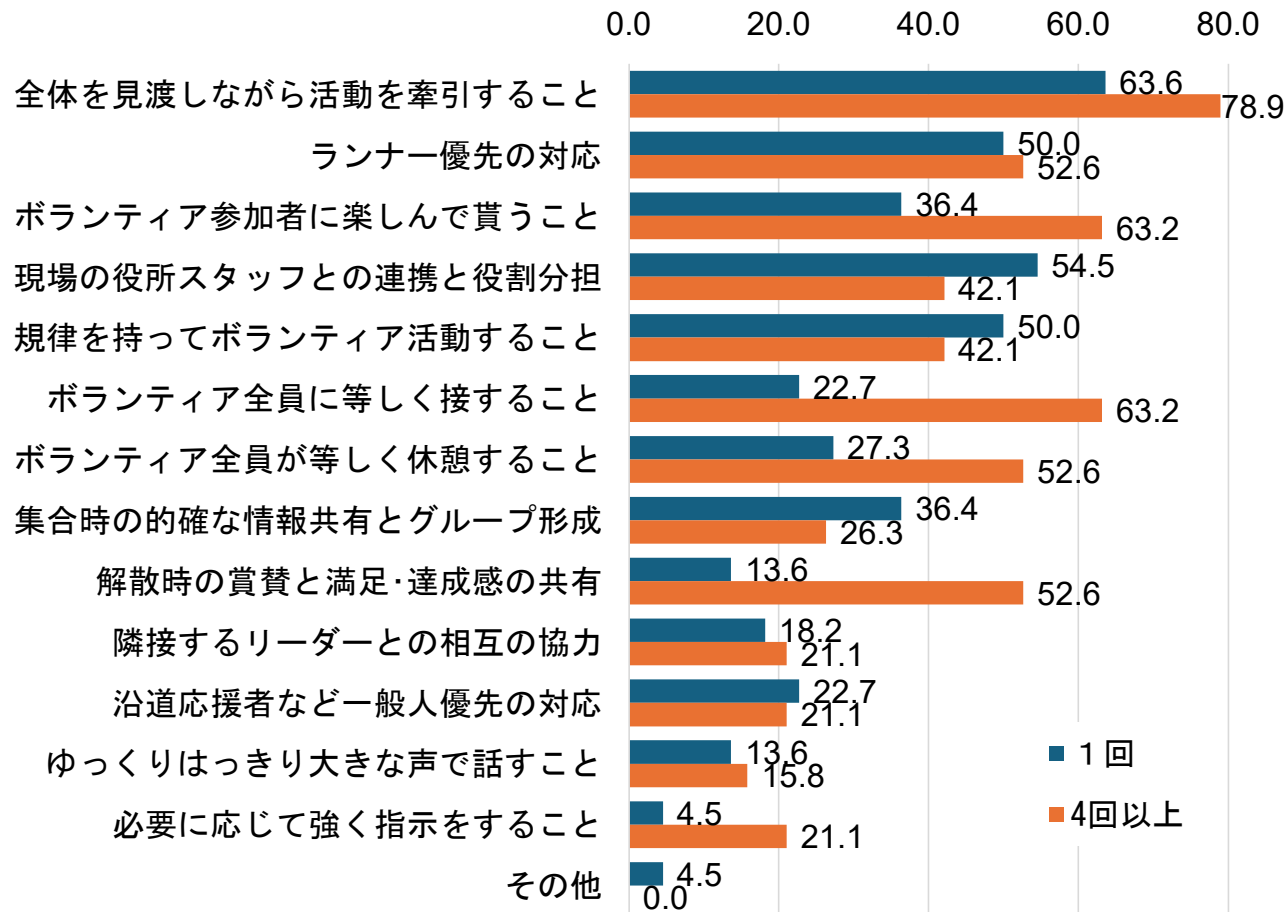
- ▶ 指名されたから
- ▶ 勧められたから

複数回経験（4回以上）者

- ▶ 何度も経験したから
- ▶ ボランティアを楽しんでほしいから
- ▶ 初めてのボランティアを応援したい
- ▶ ボランティアをよく理解している

図6 ボランティアリーダーの希望理由（複数回答）

リーダーとして注力した事項



初めて（1回）者

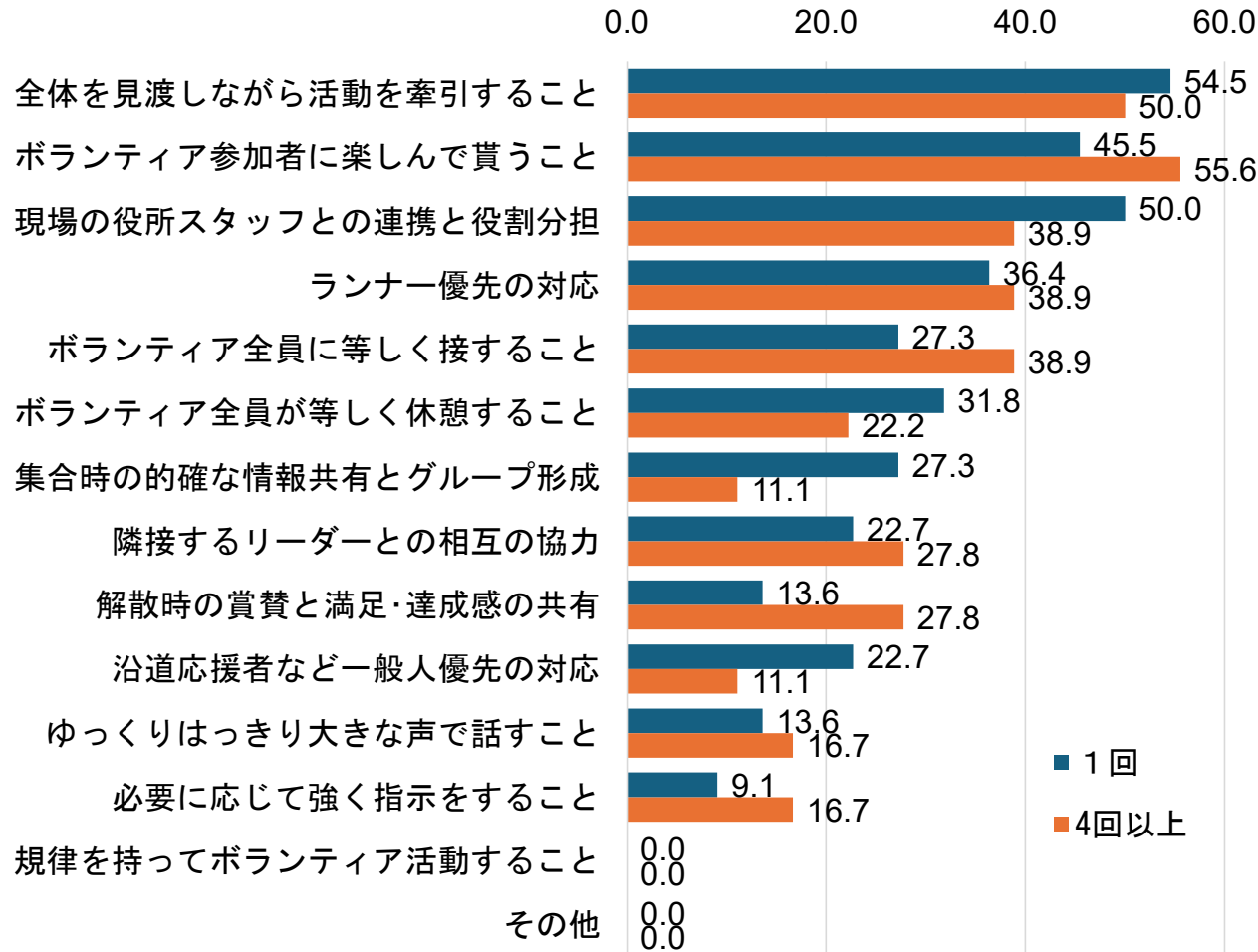
- ▶ 全体を見渡して活動を牽引
- ▶ 班長との連携と役割分担
- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ 規律を守って活動する

複数回経験（4回以上）者

- ▶ 全体を見渡して活動を牽引
- ▶ ボランティアを楽しんで貰う
- ▶ 全員に等しく接する
- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ 全員が等しく休憩する
- ▶ 解散時の賞賛と達成感共有

図7 リーダーとして注力した事項（複数回答）

リーダーとして「よくできた」事項



初めて（1回）者

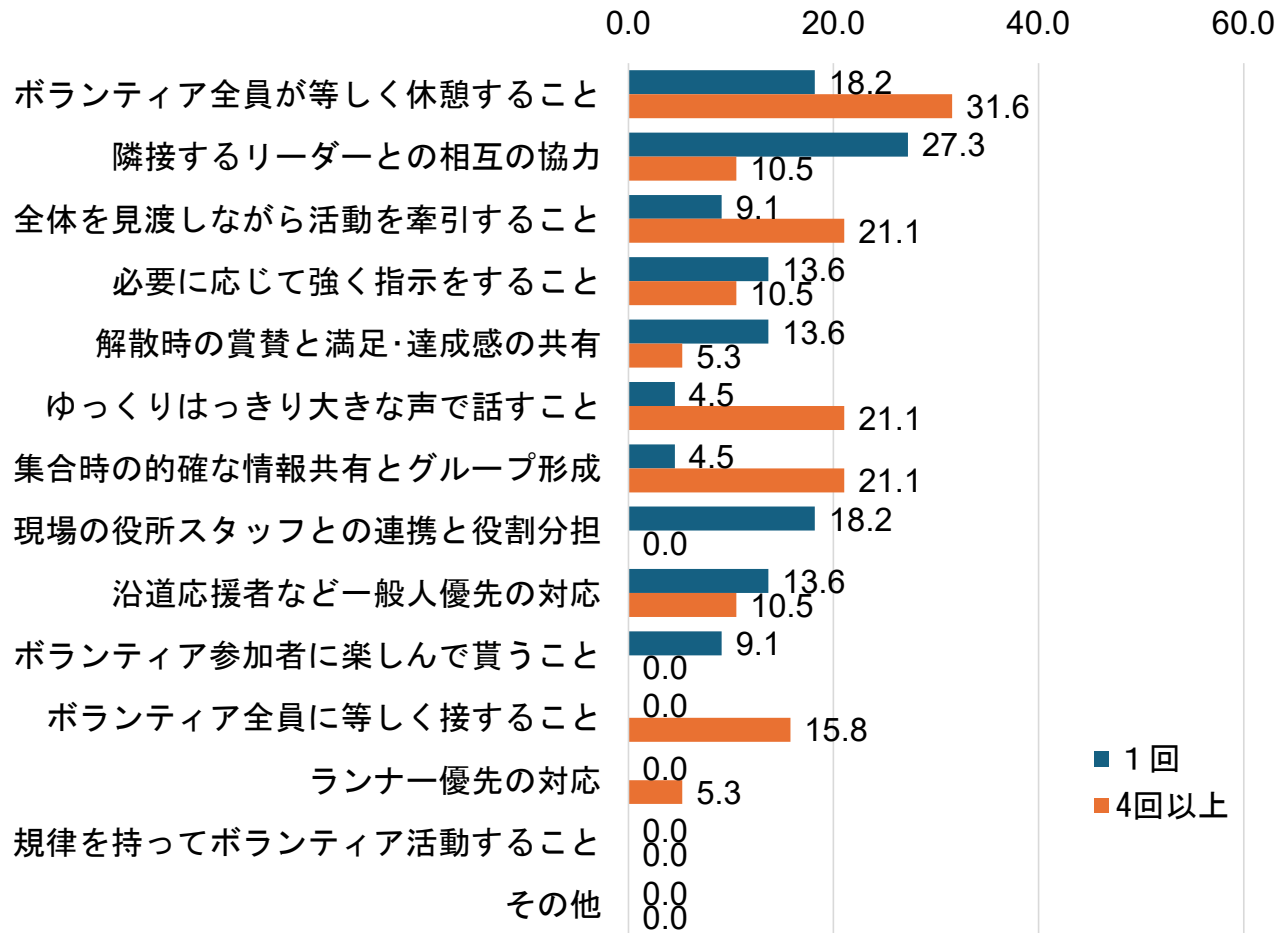
- ▶ 全体を見渡して活動を牽引
- ▶ 班長との連携と役割分担
- ▶ ボランティアを楽しんで貰う
- ▶ ランナー優先の対応

複数回経験（4回以上）者

- ▶ ボランティアを楽しんで貰う
- ▶ 全体を見渡して活動を牽引
- ▶ 班長との連携と役割分担
- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ 全員に等しく接する

図8 リーダーとして「よくできた」事項（複数回答）

リーダーとして「できなかった」事項



初めて（1回）者

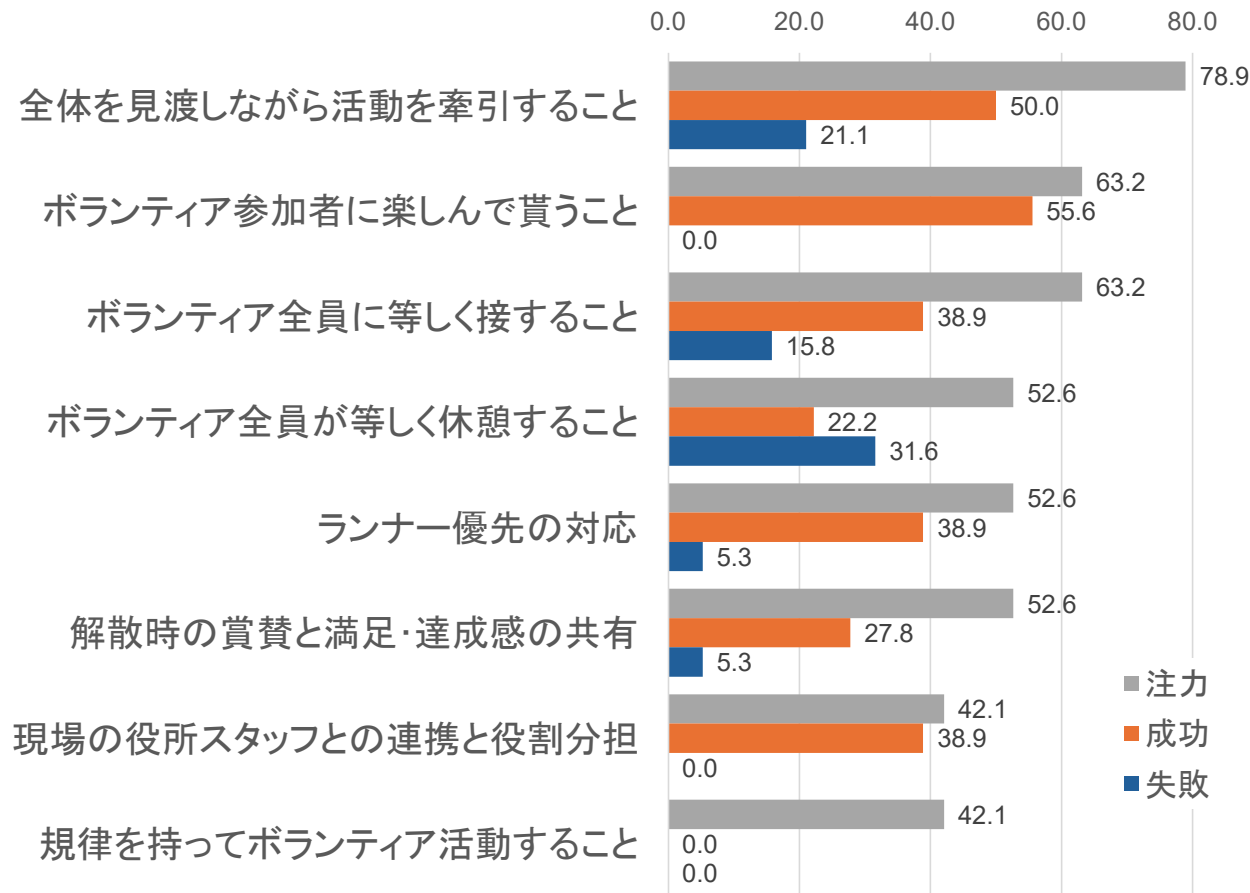
- ▶隣接リーダーとの相互協力
- ▶全員が等しく休憩すること
- ▶班長との連携と役割分担

複数回経験（4回以上）者

- ▶全員が等しく休憩する
- ▶全体を見渡して活動を牽引
- ▶ゆっくりはっきり大声で話す
- ▶的確な情報共有とグループの形成

図9 リーダーとして「できなかった」事項（複数回答）

リーダーとして、うまくできたこと、できなかったこと



うまくできたこと

- ▶ ボランティアに楽しんで貰う
- ▶ 現場の班長との連携と分担
- ▶ 全体を見渡した活動の牽引
- ▶ ランナー優先の対応
- ▶ 全員に等しく接すること

うまくできなかったこと

- ▶ 全員が等しく休憩すること
- ▶ 全体を見渡した活動の牽引
- ▶ 全員に等しく接すること

図10 リーダー活動の注力，成功，失敗の比較

リーダーとしての責任は果たせたか

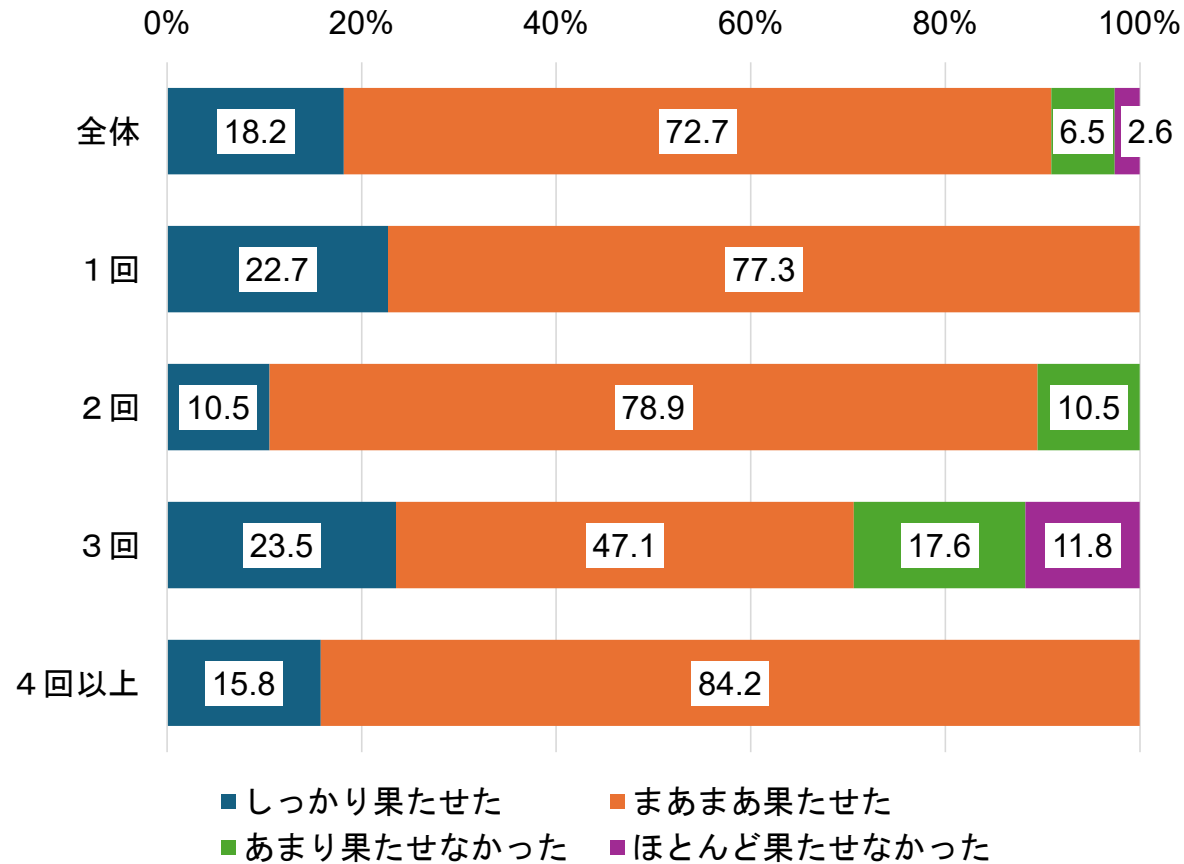


図11 リーダーとして責任を果たせたか

全体として、

9割以上が、責任を果たせた

ただし、

3回では、果たせなかった
が増加

1回では、全員が果たせた

4回では、全員が果たせた

担当によって、評価は異なる

一般ボランティアとリーダーの一体感

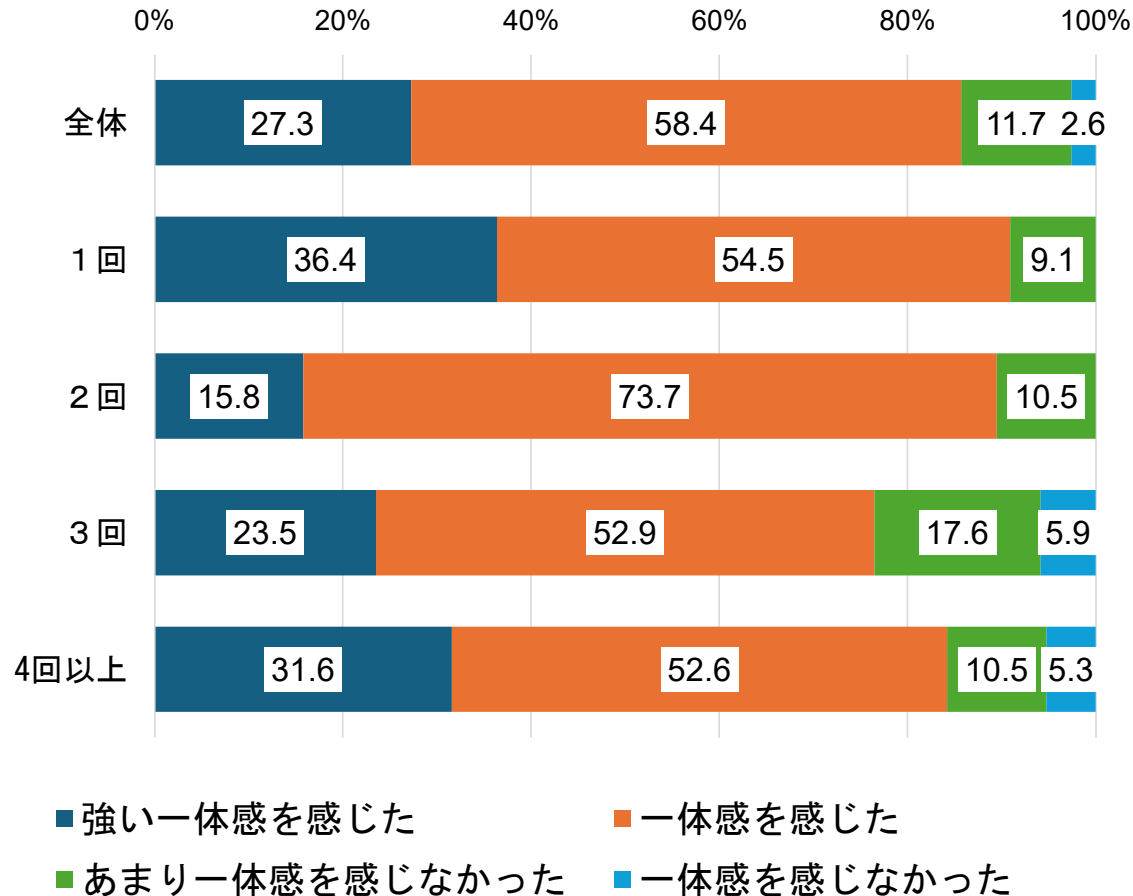


図12 一般ボランティアとリーダーとの一体感

全体として、

8割以上が、一体感を感じた

ただし、

1回では、「強い」が高め
2回から、「強い」が高まる
3回では、「感じなかった」
が増加

担当によって、評価は異なる

ボランティアの組織化は、意見が分かれる

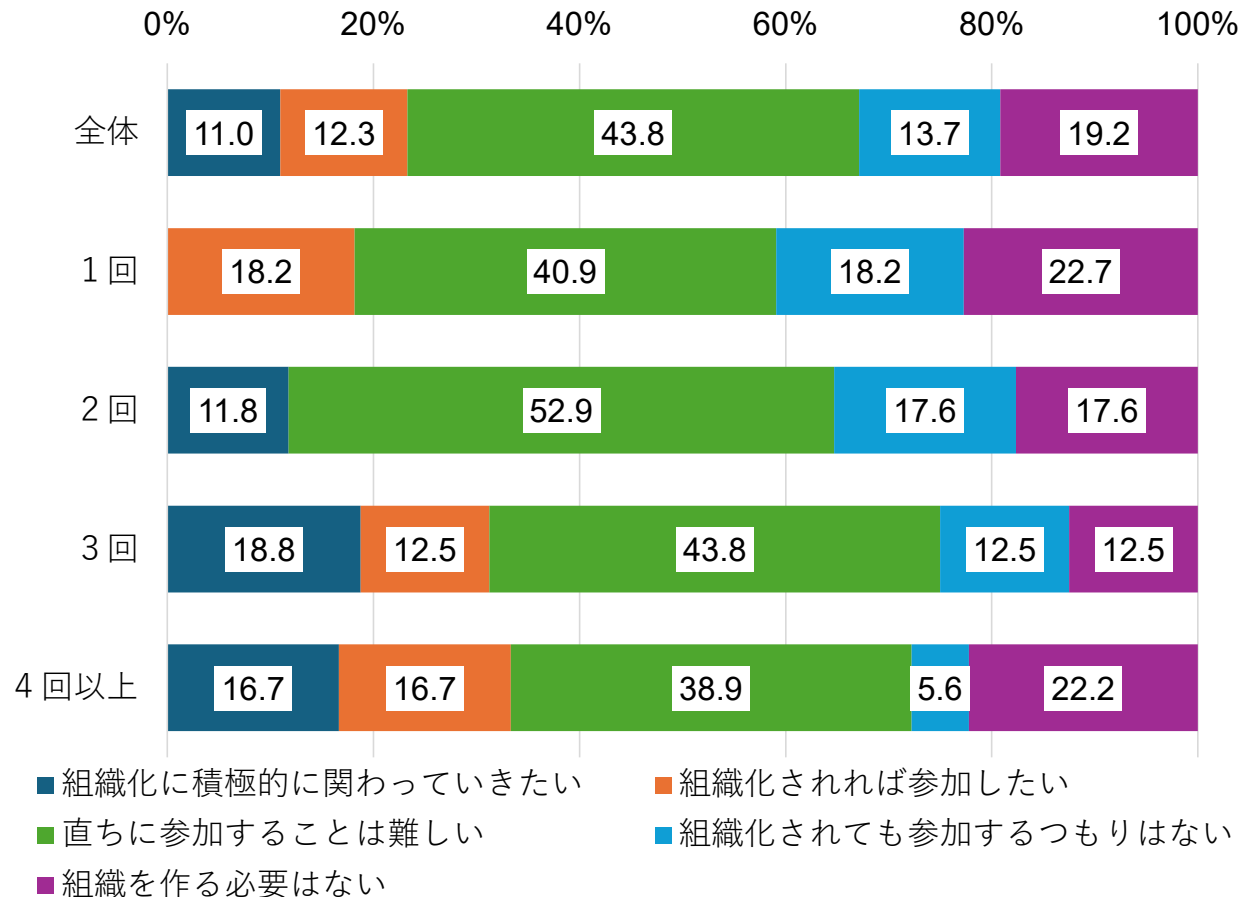


図13 ボランティアの組織化に対する意見分布

全体では、

積極的 1割強, 賛成 1割強
不参加 1割強, 不要は 2割弱

参加回数増加とともに

積極的・賛成が3割
不参加, 不要は減少傾向

4回以上でも

不要派が2割程度

組織化に対する意見は多様

総括：参加して喜びを感じるボランティアになっているか



リーダーワーク

- 「全体を見渡しながらか活動を牽引すること」を第一に注力している
- 「ボランティア全員に等しく接すること」を第二に注力している
- 「ボランティア参加者に楽しんで貰うこと」を第一に活動できている
- 「ボランティア全員が等しく休憩すること」は、なかなか難しい

リーダーの評価と展望

- ◆ 一般ボランティアの9割が、リーダーの対応は「適切」と評価している
- ◆ 金沢マラソンは10年を迎え、約半数が3回以上のリーダー経験を蓄積している
- ◆ リーダーに「なりたい」者は5%未満、「関心あり」者は20%未満である
- ◆ リーダーの2割強は組織化を支持、「3回以上」者では3割強が支持している

リーダー経験をもっと活かせる体制づくりが第11回以降の大きな課題

「金沢マラソンボランティアに参加したい」を創出する挑戦に期待